

タイトル

歴史地図自動生成システム「CraneEye」

CreaneEye : Automatic Generation of Historical Map

概要

歴史上の出来事や人物の動きなどを地図を用いて表現する歴史地図は理解容易性に優れる反面、コンテンツの作成に多大な労力を要するなどの問題がある。本研究ではWikipediaの歴史記事を用いて歴史地図の自動生成を行う。

1600年



URL

産業界への展開例・適用分野

- ・ 歴史学習の補助教材としての利用
- ・ 観光（地域の歴史表示）

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職（学年）
展示担当者	高橋侑久	社会情報学	田中研究室	修士1年